

会計別予算額		
会計名	平成 31 年度予算額	前年度比
一般会計	124 億 9,310 万円	8.8%
特別会計	71 億 792 万円	3.8%
国民健康保険事業	30 億 5,767 万円	4.2%
後期高齢者医療事業	8 億 2,418 万円	3.8%
介護保険事業	31 億 4,073 万円	3.4%
工業団地造成事業	8,534 万円	4.6%
企業会計	37 億 7,834 万円	△ 2.4%
水道事業	6 億 8,467 万円	△ 8.1%
下水道事業	30 億 9,367 万円	△ 1.1%
総合計	233 億 7,936 万円	5.3%

用語解説

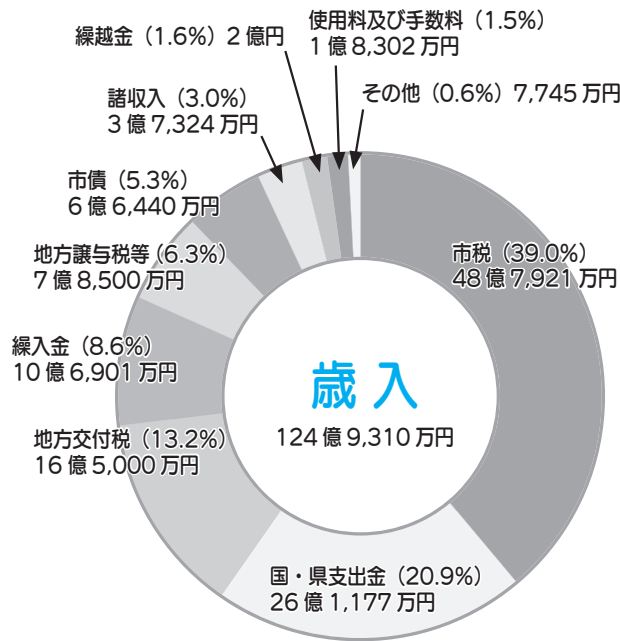
- 一般会計**……市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。
- 特別会計**……特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計です。
- 企業会計**……民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。
- 市 税**……市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税を総称したものです。
- 国・県支出金**……いろいろな事業に対する国・県からの補助金、交付金などです。
- 地方交付税**……全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 繰入金**……各基金から一般会計に入ってきたお金です。
- 地方譲与税等**……国税として徴収された特定の税収を、一定の基準により市町村に譲与される税金や各種交付金などです。
- 民生費**……児童、高齢者、障がい者の福祉や生活保護に使われます。
- 土木費**……道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。
- 総務費**……市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。
- 公債費**……借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。
- 教育費**……小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。
- 衛生費**……ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。
- 商工費**……商業や工業、観光の振興などに使われます。
- 農林水産業費**……農業や林業、水産業の振興などに使われます。
- 消防費**……消防、救急活動などに使われます。
- 扶助費**……社会福祉制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などの支援に必要な経費です。
- 補助費等**……負担金、補助金などの経費です。
- 物件費**……委託料、光熱水費、消耗品費などの経費です。
- 人件費**……職員給与や議員への報酬などの経費です。
- 普通建設事業費**……道路や公園、学校など公共施設を整備するための経費です。
- 繰出金**……一般会計から特別会計へ繰り出される負担金などの経費です。

一般会計

124 億 9,310 万円

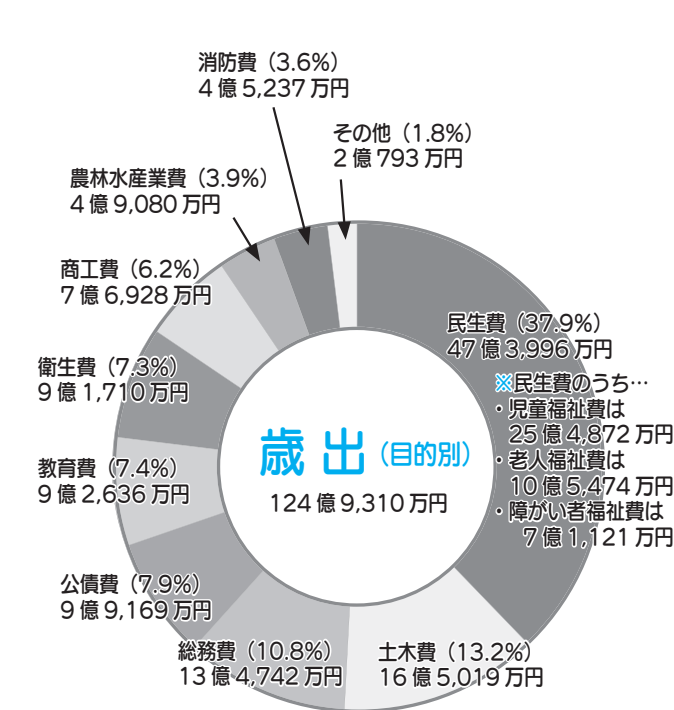
歳入

() 内は構成比



歳出

() 内は構成比



一般会計・特別会計・企業会計を合わせて

総額 233 億 7,936 万円

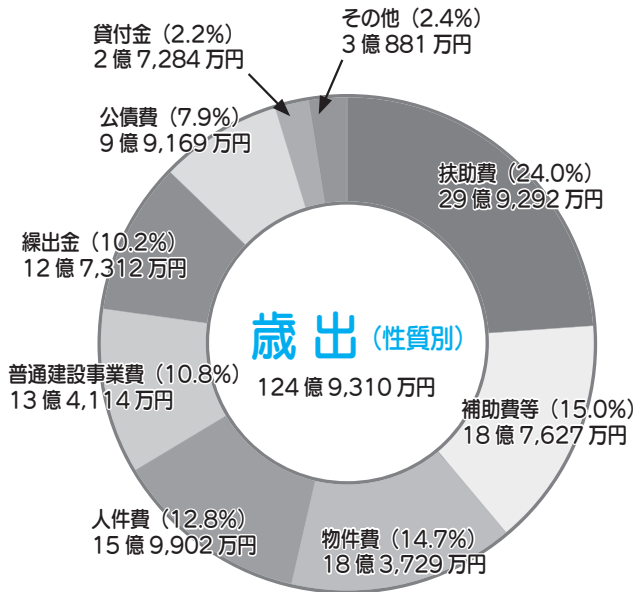


歳入の特徴

個人市民税は前年度とほぼ同水準となるものの、法人市民税は企業収益が増加するものと見込まれることから前年度比 16.1%増、固定資産税については、企業における設備投資が順調なことから償却資産の新增設が進み前年度比 3.9%増と見込み、市税全体では前年度比 3.5%増としました。一方で、地方交付税については、市税の増収が見込まれることから前年度比 10.8%減とし、各種基金の取り崩しなどにより財源の確保に努めました。

歳出の特徴

まちづくりの将来像「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」を基本とし、市民生活の向上や社会基盤の整備、産業の振興、教育文化の向上などを図る施策に取り組みます。



まず、子育て環境の充実として、国に先駆けて実施している第2子以降の保育料等完全無料化、小中学生医療費無料化、子どもインフルエンザ予防接種助成を継続するとともに、小学校のICT化を進めるためのタブレット端末の全校整備や、英語教育を推進するためALTを4名体制に充実させることとしたほか、中学生の体力向上を目的としたジュニアスポーツサポート事業に新たに取り組みます。

また、食育の継続推進に加え、生活習慣病予防やがん検診の強化を含めた健康増進事業の推進、ウオーキングサッカー大会の開催などを通じて全ての市民が充実した生活を送ることができるよう「健康寿命延伸都市」の実現に向けた各種施策を推し進めます。

一方、好評を博している海洋深層水トマトの生産拡大への取り組みや、海洋深層水天日塩の製造販売、2隻体制での「ほたるいか海上観光」の実施により、滑川ブランドの推進を図ります。

さらに、安全で快適な市民生活の実現に向け、通学路などへの防犯カメラの設置をはじめ市民要望を第一優先に、道路改良や河川改良などを行うこととしたほか、新たに有金上島線の道路改良に着手するなど通学路を中心に道路などの整備を図ることとしています。

ひと・まち・産業が元気なまち滑川の推進に向けて
平成31年度 予算

平成31年度の一般会計は124億9310万円で、前年度比8・8%（10億875万円）増、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は108億8626万円で、前年度比1・5%（1億6561万円）増となりました。また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は233億7936万円で、前年度比5・3%（1億7437万円）増となっています。

平成31年度予算は、市民要望を第一優先に、道路改良や河川改良などの経費を大幅に増額した過去最大規模とし、通年的な事業実施による強い市内経済を形成するとともに、子育てや、健康増進の推進、深層水ブランドの推進などソフト事業にも力点を置いた積極型予算として編成しました。

主な事業

平成31年度予算で実際にどのような事業を行うのか、新たな取組みを中心に紹介します。(☆は新規・拡充事業)

「ひと」が元氣なまちづくり

①子ども未来サポートセンターの設置

540万円

母子保健分野と子育て支援分野との一体的な支援を実施するための相談拠点を設置し、保健師と言語聴覚士を配置します。
※P2～3で詳報



②保育所等施設整備補助金

1億7336万円

市内私立幼稚園および認定こども園の施設整備に必要な経費の一部を助成します。

③第2子の保育料等完全無料

7705万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、全ての第2子の保育料や幼稚園授業料などを無料にします。(所得制限なし)

④児童手当支給

5億2137万円

中学校修了前までの子どもの養育者などに手当を支給します。

⑤子ども・妊産婦医療給付

1億2725万円

妊産婦および中学校修了前までの子どもの入院・通院医療費を無料にします。(所得制限なし)

⑥障がい者福祉利用券などの給付

409万円

在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーの乗車チケット、コミュニティバスの乗車券を給付します。

⑦医療対策事業

6000万円

市内唯一の公的病院である厚生連滑川病院へ、新たに産科部門も含め医療体制維持のための費用およびMRI装置導入に対する費用を助成します。



⑧健康増進事業

8676万円

市民の健康増進を図るため、健康手帳の配布や健康教育、各種健康診査などを実施します。また、50歳から5歳刻みで75歳までの全市民を対象に、胃、肺、大腸がん検診の無料クーポン券を配布し、受診率の向上を図ることで、健康寿命延伸のまちづくりを目指します。

⑨行田公園整備事業

3250万円

行田公園と児童館の一体的な運用を目指して、芝生広場やピオトープなどの自然観察施設を整備します。



⑩公園管理

8703万円

市内各公園施設などの維持管理や、遊具などの改修、ガーデニング指導者の育成を行います。

⑪語学指導外国青年招致

1802万円

外国語指導助手(ALT)を3名から4名体制へ拡充し、児童生徒の英語力の向上を図ります。



⑫小学校情報教育設備充実

2484万円

全ての小学校へ児童用タブレットを整備し、CAI(コンピュータ支援教育)システムなどの情報教育環境を整えます。



⑬ジュニアスポーツサポート事業

30万円

中学生を対象として、平日夕方の時間帯に専門的な知識を持つ指導者が、質の高い基礎トレーニングを行い、体力向上・競技力向上を目指します。

⑭ウオーキングサッカー大会開催

44万円

誰もが気軽に楽しめるウオーキングサッカーの大会を開催し、楽しみながら健康づくりができる機会をつくります。



⑮宇津木杯ソフトボール交流大会開催

95万円

元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏の来滑を記念し、宇津木杯ソフトボール交流大会を開催します。

「まち」が元氣なまちづくり

⑯地域公共交通施設整備事業

1293万円

富山地方鉄道の老朽化した設備を更新する際の費用の一部を助成します。また、あいの風とやま鉄道滑川駅にエレベータを設置するための基本設計を行います。

⑰防犯推進

572万円

滑川市防犯協会やこども110番の家を支援するほか、通学路などへ防犯カメラを設置します。



⑱防災行政無線施設整備

1億500万円

防災行政無線のデジタル化に向け、整備工事を2か年で実施します。(継続事業の1年目)

⑲コミュニティバス運行

4153万円

地域間の交流促進や高齢者など市民の交通手段を確保するため、年末年始の3日間(12月31日～1月2日)を除いて毎日運行します。また、運行体制の充実を図るため、無線通信やGPSなどを利用してバスの位置情報を収集し、定時運行の調整などに役立てる「バスロケーションシステム」を導入します。



⑳合併処理浄化槽設置推進事業

3990万円

下水道整備計画のない地域で、し尿と生活排水の両方を処理することができる合併処理浄化槽の設置を推進します。

㉑観光客誘致事業

701万円

「ご当地グルメイベント」「キラリングルメの森」の開催、東京の日本橋とやま館で実施する生きたホテルイカの発光ショーを通じ、本市特産品をPRします。また、今年県内で開催される「世界で最も美しい湾クラブ」の総会と「日台観光サミット」でPRブースの出展などを行います。

㉒ほたるいか観光施設設備充実

1200万円

ほたるいかミュージアムの多言語対応に向けた整備などを行います。

㉓観光遊覧船運航

3029万円

観光遊覧船「キラリン」を使用した「富山湾岸クルージング」や、2隻体制で実施する「ほたるいか海上観光」を行います。

㉔市単独道路等改良事業

4億円

町内会などからの要望を受けて改良が必要と認められた道路の整備や、災害に強い河川整備のための水路の改修、改良を行います。

- ・道路改良費 2億7000万円
- ・歩道等整備費 2500万円
- ・市道舗装費 5000万円
- ・浸水対策事業費 4300万円
- ・河川改良費 1200万円

㉕江尻高月線・中野島坪川線・有金上島線道路改良事業

1億円

歩行者や車両の交通安全確保を図るため、市道江尻高月線・中野島坪川線・有金上島線の道路改良工事を進めます。

- ・江尻高月線道路改良事業費 6000万円
- ・中野島坪川線道路改良事業費 2000万円
- ・有金上島線道路改良事業費 2000万円

㉖中滑川駅前再開発事業

310万円

中滑川駅前周辺整備の測量を実施します。

㉗都市計画街路整備事業

500万円

中滑川駅前周辺整備に合わせ、都市計画道路橋場国道線などの基本設計を行い、通学路の安全対策を推進します。

㉘民間宅地開発事業補助金

2200万円

一定規模の宅地開発を行う際に、舗装や公園などの公共施設整備に助成します。

㉙展覧会等開催

300万円

博物館で所蔵している作品展示や、「滑川の災害史(仮題)」、縄文時代の生活を体験できる「滑川の縄文展(仮題)」の開催を予定しています。

「産業」が元氣なまちづくり

㉚豊かな農村づくり推進

1800万円

6次産業化の推進や、農業機械の導入助成、海洋深層水トマトなどの地域特産物の生産を推進するなど、各種事業を実施します。

㉛工業振興対策

1億2630万円

工業振興を図るため、指定地域内における工場の新増設などに対して、固定資産税相当額を助成します。また、工場の電気・水道・情報通信設備などの整備・増強にかかる費用に対して助成します。

